

# 防災をプログラミング的思考で考える！ プログラミング教育に使える 「防災プログラミングカード」を無償提供開始

学校情報モラル・プログラミング教育支援



※高解像度の写真データは弊社サイトのデータを御利用ください。

## ■9月1日「防災の日」に防災をプログラミング的思考で考える

株式会社教育ネットは、9月1日の防災の日にあわせて、災害時の行動をプログラミング的思考を使って考えることができる「防災プログラミングカード」の無料提供をはじめました。防災プログラミングカードはインターネット上で公開されており、印刷して使用することができます。

## ■子どもたちが主体的に考える防災活動を

災害時には早く安全に避難する必要があります。「防災プログラミングカード」は、早く安全に避難するためにはどのような行動をどのような順番でおこなうのが良いか、をプログラミング的思考を使って考えるためのカード教材です。

「防災プログラミングカード」にはイラストが描かれていますが、その行動が何を意味するか説明は書かれていません。そのため、子どもたちはそのイラストを見ながら、その行動が何であるかを考え、それらをどのような順番で行えば早く安全に避難できるかを考えることができます。

## ■ 「はしらないといけない場合もあるよ！」

防災プログラミングカードには「おしゃべりする」や「はしる」といったカードも含まれます。通常の防災訓練であればおしゃべりしてはいけない、走ってはいけないと禁止する行為ですが、全ての場合においてそのように指導してよいのでしょうか。

防災プログラミングカードを使った学習の中で「はしる」のカードを使わないカードとしてはずそうとした先生に対して「はしらないといけない場合もあります」と発言した子がいました。グラウンドで遊んでいるときに地震があり、近くに倒れそうなブロック塀などあったらグラウンドの真ん中まで走ったほうがよいというのがその子の主張でした。



※高解像度の写真データは弊社サイトのデータを御利用ください。

## ■ 子どもから様々な意見がでる防災教育

防災プログラミングカードを使った学習では、子どもたちから様々な発言がありました。「学校ではなくて家にいた場合はどうしたらいいだろう」「そもそもこの行動は何のためだろう」といった疑問の声が出てくる防災学習は通常ではあまり見かけない光景かもしれません。

正しい防災行動を教えてそのとおりに行動することも大切ですが、今年はまず防災プログラミングカードを使って子供が考える防災教育をおこなってみるのはいかがでしょうか。防災プログラミングカードは、板書例や授業例とともに紙と鉛筆のできるプログラミング教育教材「すぐプロ2」の抜粋版に掲載されています。



※高解像度の写真データは弊社サイトのデータを御利用ください。

神奈川県横浜市で学校や地域における「情報モラル教育」や「プログラミング教育」の支援を行う株式会社教育ネット（代表：大笹 いづみ）と申します。当社では 2018 年度より、東京都のプログラミング教育推進校のサポート企業として、公立小学校におけるプログラミング教育のコンサルタント、教職員向けの導入研修、授業案作成、パソコンを使わないアンプラグドのプログラミング学習教材などを開発しております。

2020 年度に本格スタートする「プログラミング教育」のスムーズなスタートの為に、夏季教員研修や各学校での研究授業に活用できる「すぐプロ2」の製品抜粋版を無償ダウンロード提供始めました。今回は「防災プログラミングカード」と指導案のご提供となります。プログラミング教育の基本を理解するだけでなく、パソコンやロボットを使ったプログラミング教育の振り返りにも効果的なアンプラグド教材を是非体験してみてください。

## 防災プログラミングカード抜粋版 無料ダウンロード 詳細

対 象：全国の小中学校 教育委員会等

内 容：防災プログラミングカード(アンプラグド教材「すぐプロ2」抜粋版) 無料ダウンロード

ダウンロード方法：教育ネット Web サイトより、お名前、メールアドレス、自治体、学校名を記入ください。

折り返しメールでダウンロードサイトをご案内いたします。

申込 URL: <https://edu-net.co.jp/>

教 材 内 容：紙とハサミとえんぴつではじめる「すぐプロ2」抜粋版

「防災プログラミングカード」カード教材、授業案、板書計画

問 合 せ 先：(株)教育ネット 電話 045-530-9401 [info@edu-net.co.jp](mailto:info@edu-net.co.jp)

HP URL <https://edu-net.co.jp/> 参照ください。

### ■代表的なサービス内容

#### ①情報モラル教育支援『お助けネット』

支援自治体 平成30年度 20か所以上

主な支援先：東京都・世田谷区・練馬区・太田区・

葛飾区・小平市・川崎市等

出前授業、保護者講習、教職員研修 年間1700回以上

在籍講師 50名



#### ②学校プログラミング教育支援『お助けプログラミング』

支援自治体 平成30年度より本格スタート

東京都のプログラミング教育推進校75校うち12校のサポート

横浜市のプログラミング教育支援

### <資料に関してのお問合せ先>

株式会社 教育ネット

広報担当：宮川・田中雅樹

住 所 〒 224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央8-36 松本ビル502

電 話：045-530-9401 (宮川携帯 09078770967)

F A X：045-530-9402

E-MAIL：[info@edu-net.co.jp](mailto:info@edu-net.co.jp), [amiyakawa@edu-net.co.jp](mailto:amiyakawa@edu-net.co.jp)

HP URL：<https://edu-net.co.jp/>

